

2015 中小企業情報化促進セミナー

1 開催概要

- ❖ 開催日：平成 27 年 9 月 14 日（月）13:00～17:00
平成 27 年 9 月 15 日（火）09:45～14:20 ※2 日目は都道府県中小企業支援機関役職員のみ参加となります。
- ❖ 会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北 4-2-25） 5F 穂高（1 日目）・穂高西（2 日目）
<http://www.arcadia-jp.org/access.htm>（アクセス・地図）
- ❖ 定員：100 名 ❖ 受講料：無料
- ❖ 対象者：都道府県中小企業支援機関役職員、中小企業診断士、ITC、中小企業経営者、当財団賛助会員等
- ❖ 主催：公益財団法人全国中小企業取引振興協会（問合せ先：03-6228-3802）
- ❖ 後援：特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会
- ❖ ITC 受講修了証（無料）：実践力ポイント 4 時間（※全カリキュラムの受講が必要となります）
- ❖ 申込先：http://www.zenkyo.or.jp/it/aid_seminar.htm

2 <第一部> 開催内容 平成 27 年 9 月 14 日（月）13:00～17:00

<p>【 講演 】 標的型攻撃などのサイバー攻撃への備えと対応</p>	<p>標的型攻撃をはじめ、DDoS、マルウェア感染による不正送金などのサイバー攻撃の被害が国内で広がっています。攻撃対象は高範囲におよび、企業規模によらずセキュリティ対策が必要となってきました。本講演では、それらの攻撃手法について紹介するとともに、企業における効果的な対策について解説いたします。</p> <p>≪講師≫ 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 早期警戒グループ 情報セキュリティアナリスト 藤本 万里子 氏</p>
<p>【 講演 】 人工知能が拓くビジネスの新たな可能性 ～中小企業が享受できるメリットとは？～</p>	<p>いま人工知能（AI）が再び脚光を集めており、「第 3 次 AI ブーム」ともいえる状況となっています。1980～90 年代に流行した人工知能とは大きく違い、Web やセンサーなどで集めた大量のデータを扱うビッグデータを前提として、そこから「学習」を通じて様々な知見を得るというアプローチを取ります。人工知能というと非常に高度な技術という印象があるかもしれませんが、必ずしもそうではありません。中小企業もメリットを享受できます。現在の人工知能を取り巻く状況やビジネス利用の実態を分かりやすく説明します。</p> <p>≪講師≫ 日経 BP 社日経 BP イノベーション ICT 研究所 上席研究員 田中 淳 氏</p>
<p>【 事例発表 】 IT 活用で蘇った伝統工芸 ～窮地に追い込まれた伝統産業は、なぜ IT で蘇り、「世界」に届いたのか～</p>	<p>日本の「ものづくり」が、産業の構造転換の波に晒されています。「組子」という日本の伝統技術で空間装飾を手掛ける（株）タニハタが、IT の活用など、苦境からいかにして新しい需要を産出し、海外から注目を集めるまでになったのか。妥協を許さぬ職人気質や技術・理念の伝承方法、また IT を駆使した海外販売の方法などを講演します。</p> <p>≪講師≫ 株式会社タニハタ 代表取締役社長 谷端 信夫 氏</p>

3 <第二部> 開催内容 平成 27 年 9 月 15 日（火）09:45～14:20

<p>【 講演 】 情報技術の進化とこれから企業の IT 戦略構築に求められるもの</p>	<p>人工知能、ロボット、IoT、ドローン。情報技術とそれを取りまく社会環境は、いま大きな変化の入り口に立っている。これまで当たり前であったことが想像以上の速度で当たり前ではなくなり、新しい可能性、現象と向き合うことになる。そこで企業にとって必要となる IT 戦略、戦術について考察して行く。</p> <p>≪講師≫ ランドデザイン株式会社 代表取締役社長 小川 和也 氏</p>
<p>【 事例発表 】 石川県産業創出支援機構における情報化支援事業の現状と課題について</p>	<p>≪講師≫ 公益財団法人石川県産業創出支援機構 産業振興部長 尾井 一秀 氏</p>